



お盆を迎えた鉈屋町では8月14、15日に迎え火、16日に送り火が焚かれました。

なぜ迎え火が14、15日なのか？

お盆の迎え火・送り火

鉈屋町町内会だより



私は不勉強だったため、迎え火は盆の入り焚くものだと思いついていました。なので13日の夕方に外に出ても、何も起きないので、あれ?と思いつつ帰りました。



夕方6時過ぎから、家の前に一つ、また一つと火が灯っていきます。

不定期発行

発行者
鉈屋町町内会

編集/文責/撮影
桂 汎用工房
脇田 桂一郎

印刷
小松総合印刷
株式会社



なぜ14日から迎え火なのか、いろいろな方にお聞きしたのですが、はつきりした理由はわかりませんが、「昔からそういう習慣なので、なぜかはわからない」というお返事が多かったです。



やはり何らかの謂れがあるような気がするのですが、いずれ調べてみようと思います。



しかも、盛岡の他の町では普通どおり13日に迎え火のところもあり、謎は深まります。



あさ顔プロジェクトをはじめ、鉤屋町とその周辺の、いろいろなところで見つけた朝顔です。
今回は個人宅が多いので、撮影場所は記載なしにしました。



朝顔、咲いた。

NORAとRemの展示スペース

かわてつさんの隣でNORA atelier & shop を営む工藤雄太さんと、その兄でRem Remake Furniture を営む工藤秀太さん、二人の新しい展示スペース兼店舗ができたので伺ってみました。

場所は細重酒店さんとピッピさんの間、昔「萩」だったところです。



NORAの雄太さんは、古い服や布をリメイクした衣類と古着を、Remの秀太さんは、古い家具のリフォームや様々な古物を扱っています。

落ち着いた色調の服と、アンティークとはちよつと違う、古くて味のある家具や小物が並んでいます。



新しい感覚、新しい世代によって、町家のこういう利用の仕方があるのか、と気が付かされた感があります。不定期ですが、土日のオープンを目指しているそうです。



朝顔日記 3

どんどん育つ朝顔。重みで崩れてきそうなので、木製の支柱を3本追加。吊っている糸も太いものに変えて、なんとか形状を保ちました。



元々が、鈴木其一の「朝顔図屏風」みたいになりたい、という無茶な要望でしたが、こうしてみると思ったより、それっぽくなつたような気がします。

朝顔が秋の季語だと最近になつて教わりました。もうしばらくは咲くことでしょう。(桂)